

令和4・5年度 第1回国有林モニターアンケートの結果

林野庁では、国有林について幅広く国民の意見・要望をいただき、国有林野の管理経営に役立てるとともに、国有林野事業に対する理解を深めていただくなど、国民との双方向の情報・意見の交換など対話型の取組を行う「国有林モニター制度」を設けています。

四国森林管理局では、令和4～5年度の2年間で任期とするモニターを公募し、四国4県にお住まいの27名に依頼しております。

今回は「森林・林業・国有林」について、「令和4年度四国森林管理局の重点取組事項」等を中心に、国有林モニターの皆様アンケートにご協力いただきましたので、その結果を紹介します。

アンケート結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めて行く上での貴重なご意見として参考にさせていただきます。

○アンケート実施概要

依頼者数：27名

回答者数：26名

回収率：96%

※ 回答については、同旨の回答を統合したり、意味の変わらない範囲で文言を修正し、とりまとめています。

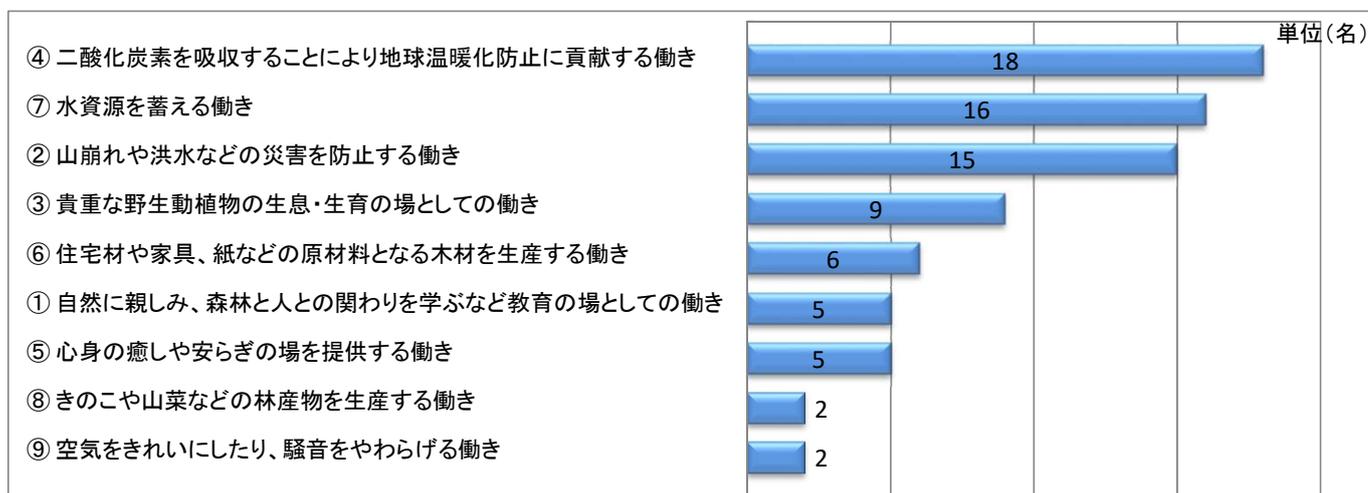
I 森林・林業・国有林について

問1. あなたは、森林についてどのような働きを連想しますか。(最もあてはまると思う選択肢を3つまで選択)

〈回答結果〉

最も回答が多かったのは、「二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化防止に貢献する働き」(18名)でした。

次いで、「水資源を蓄える働き」(16名)、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」(15名)となりました。

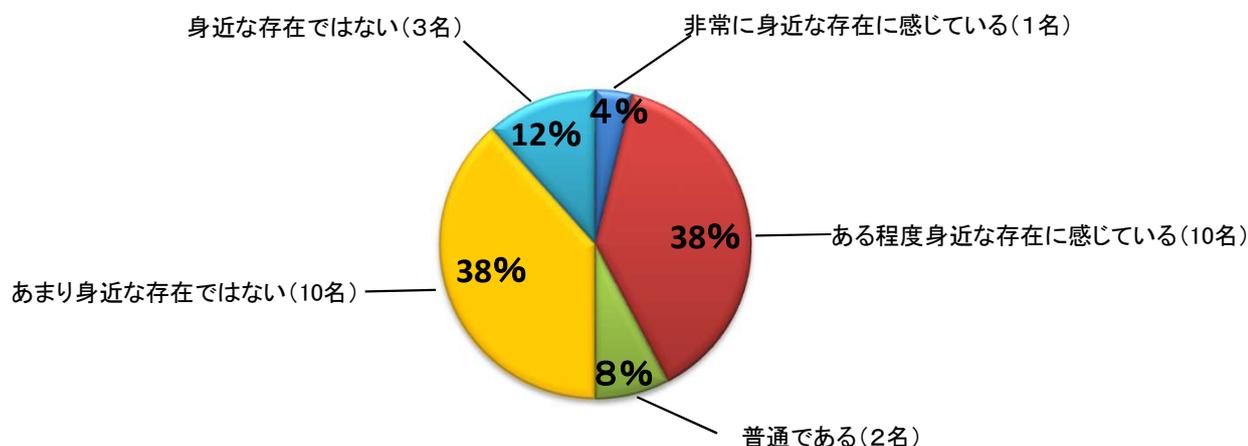


問2. あなたは、国有林についてどのように感じていますか。(最もあてはまるものを選択)

〈回答結果〉

身近と感じている方が42%いた一方で、身近ではないと感じている方が50%でした。

今後、国有林モニターの取組や広報活動を強化するなど、さらに多くの国民の皆様「国有林」を身近に認識していただけるよう努めてまいります。

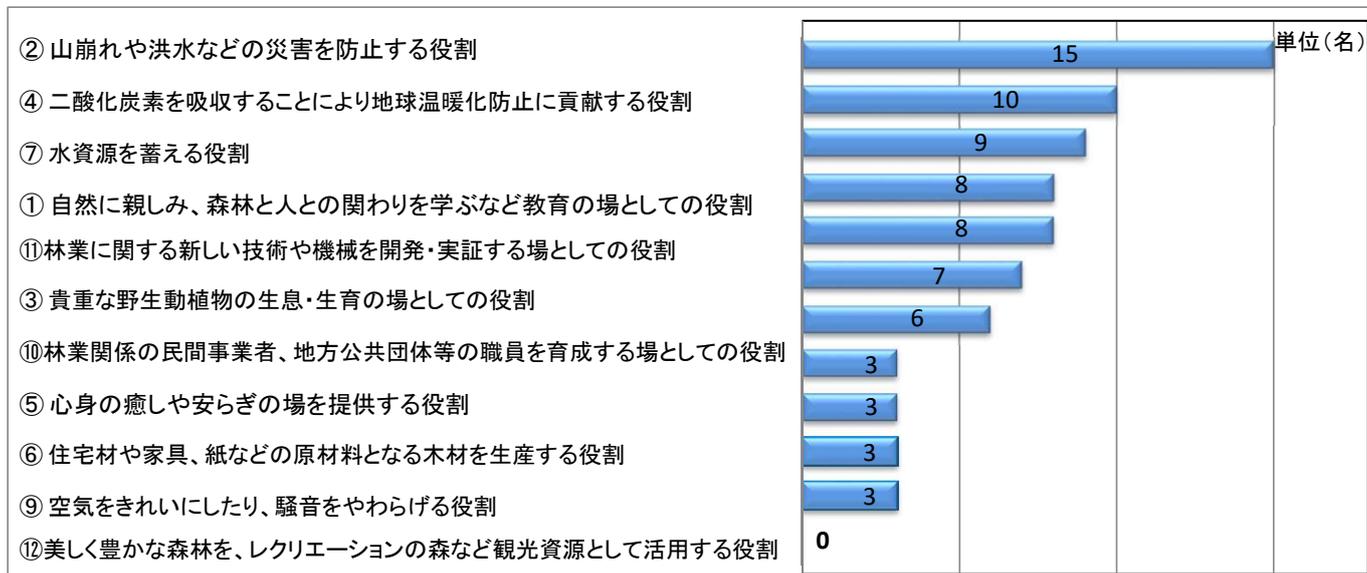


問3. あなたは、国有林について、どのような役割を期待しますか。(最もあてはまると思う選択肢を3つ選択)

〈回答結果〉

最も回答が多かったのは、「山崩れや洪水などの災害を防止する役割」(15名)でした。

次いで、「二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化防止に貢献する役割」(10名)、「水資源を蓄える役割」(9名)となりました。



問4. あなたは、「林業」にどのようなイメージを思い浮かべますか。(自由記載)

〈回答結果〉

プラスのイメージとして、「自然災害などを防止する役割」、「水資源を蓄えてくれる森林を管理する、国民生活の基盤となるもの。」といった声が寄せられました。

一方、マイナスのイメージとして、「重労働、大変な仕事だと思う。」、「重要な産業であるが、人々の関心が薄い。」といった声が寄せられました。

〈回答抜粋〉

- 植林したり、木を管理するための重要な仕事をしている。
- 大雨、自然災害などの防止の役割が大きい仕事。
- とても大切な事業だとは思いますが、重労働、大変な仕事だと思えます。
- 水資源を蓄えてくれる森林を管理する、国民生活の基盤となるもの。
- 重要な産業であるが、人々の関心が薄い
- 高齢化が進んできているイメージがあるが、若い人も入ってきている。
- 生育期間が非常に長期間にわたる。
- 間伐材の利用が課題になっている。
- 建物や家具の部材を生産する事業。
- 木を植林して育て、伐採して住宅や炭など色々なものに加工する産業。
- きれいな森を作ること、清流を作ることができる。

問5. あなたは、森林・林業に関するイベントに参加されたことがありますか。あれば、どのようなイベントか教えてください。(自由記載)

〈回答結果〉

各地域で様々な実施主体による、森林林業に関する取組にご参加いただき、皆様の森林への関心の高さを改めて感じました。四国森林管理局としては、フィールド提供等を通じて森林・林業に対する理解を醸成していただけるように努めてまいります。

〈回答抜粋〉

- 森の健康診断体験
- MY箸作りイベント
- 高知県・香川県内でのダムの見学イベント(森林環境保全、水資源確保)
- 森林フェスティバル
- フォレスター活動
- 林業まつり
- 森林づくりリーダー養成講座
- スギ、ヒノキの間伐・枝打ち体験
- 林業機械使用研修

II 四国森林管理局の取り組みについて

問6.「令和4年度四国森林管理局の重点取組事項」について、特に関心の高い事項及び理解が難しい事項を選択してください。(各最大3つまで)

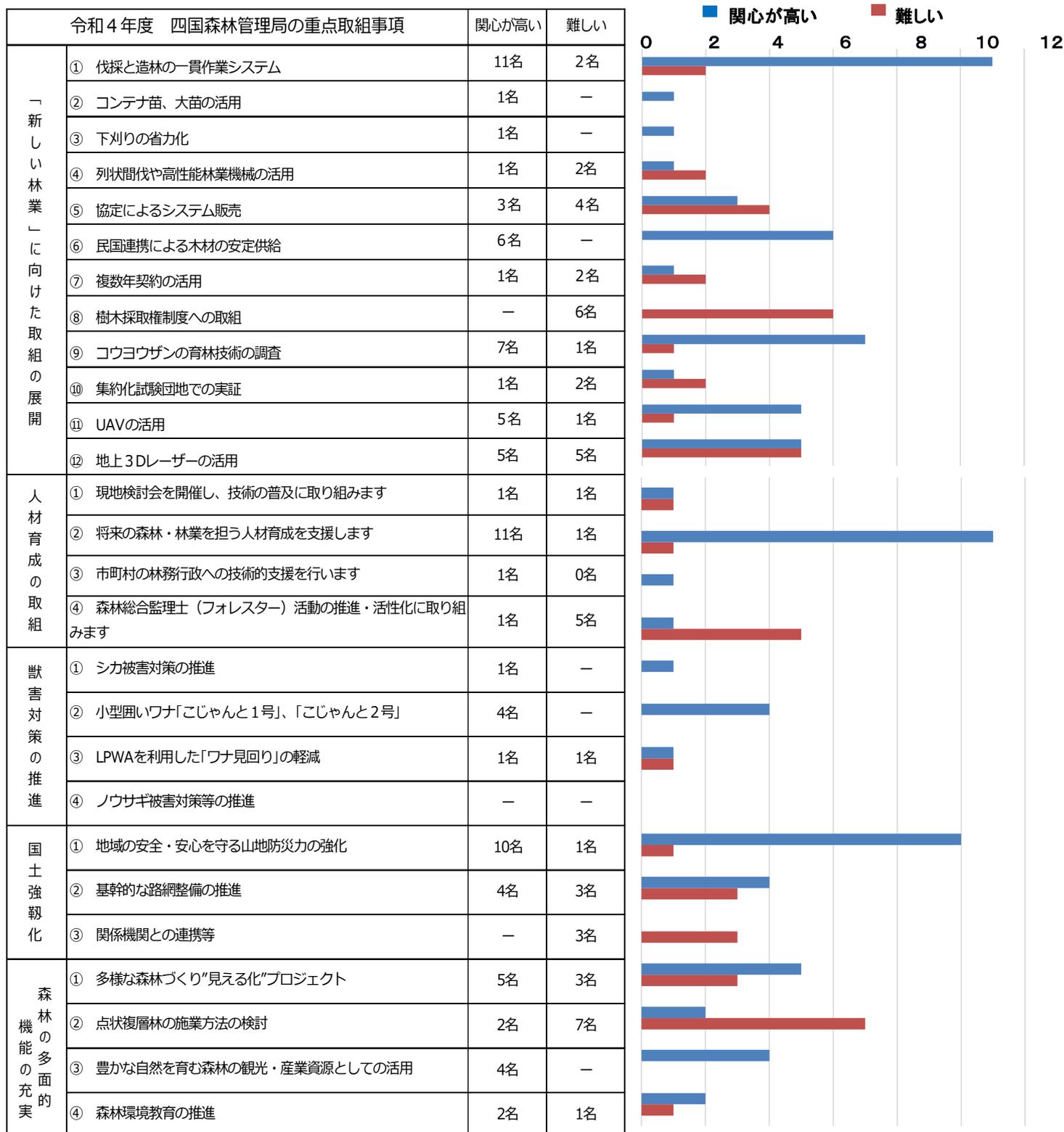
(回答結果)

関心が高い事項として特に回答が多かったのは、「伐採と造林の一貫作業システム」、「将来の森林・林業を担う人材育成を支援します」(11名)次いで、「地域の安全・安心を守る山地防災力の強化」(10名)、「コウヨウザンの育林技術の調査」(7名)でした。

理解が難しい事項として特に回答が多かったのは、「点状複層林の施業方法の検討」(7名)、次いで、「樹木採取権制度への取組」(6名)でした。

重点取組事項の中でも、「低コスト」に資する取組や、「人材育成」に資する取組に特に関心を寄せていただいていることが分かりました。

また、「点状複層林」や、「樹木採取権」といった専門用語に関しては理解が難しかったとの声が多く、さらに分かりやすい紹介に努めてまいります。



問7. 問6で選択した事項の理由や意見等があれば、お聞かせください。(自由記載)

(回答抜粋)

- 近年の異常気象であらためて森林の重要さを感じています。
- わかりやすい内容でしたが、専門用語を少し理解できないところがありました。これから少しずつ勉強していこうと思っています。
- LPWAは、ICT技術として期待しています。
- 近年多発する自然災害に対する森林の役割や、トレイルランなど山や森林に触れる事による心身健全、健康化に興味がある。
- コウヨウザンの育成による生育期間の短縮化やコストの削減といったプラスの側面を生かした林業の発展に期待を持ちました。
- 林業の後継者の育成・林業大学校の取り組みに関心を持っています。
- 荒廃山地や荒廃溪流を復旧する治山事業とは具体的にどのようなことか知りたい。
- 地上3Dレーザーの活用等に関しては、技術が発展してきている現代ならではのものだと思います興味を持った。

Ⅲ その他

問8. あなたは国有林モニターとして、2年間の任期の中でどのようなことを希望しますか(現地説明会の内容等)。また、どのようなことに興味がありますか。(自由記載)

(回答抜粋)

- 林業について、若い世代の人に関心を持っていただけるように、また、説明ができるように勉強していきたい。
- 現地説明会にて、国有林がどのような環境下で管理されているのか見学できたら良い。
- 森林総合監理士活動の実態、観光資源としての豊かな自然を見たい。
- 森林の多面的機能について、現地での説明を希望します。
- 森に行ったことがない人たちに森の持つ力、魅力をアピールするために深い森に入って体感したい。
- 林業事業体の方のお話を伺いたい。
- 生物多様性保全に配慮した森林施業の事例、優良事業地、複層林への誘導地を実際にみてみたい。
- 森林の状況を確認して、どこが良くて、何が悪いのかを分かるようになりたい。